

News
letter
No.1

日本シニア小児科医連盟

2014年8月
第1巻 第1号

日本シニア小児科医連盟が設立され、第1回会議を名古屋にて開催

内容

- 1 設立にあたり
衛藤義勝
- 2 第1回日本シニア小児科医
連盟会議プログラム
- 3 設立にあたり
山城雄一郎
- 4 設立にあたり
安次嶺 馨
- 5 第2回日本シニア小児科医
連盟会議開催
- 6 幹事名簿

設立にあたり

代表幹事 衛藤 義勝

東京慈恵会医科大学名誉教授/財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター長

我が国は世界で最も急速に高齢化社会に突入し、65歳以上の人口は全人口の4分の1を占め、3200万人に達する。このような状況下において小児科医も高齢化し、全国小児科医全体の3分の1は65歳以上である。然しながら、我が国の平均寿命は女性86歳、男性80歳時代を迎え65歳以上のシニア医師は十分にまだ社会で活躍できる能力と力を有している。しかし残念ながら、我が国は米国と異なり大学では、65歳定年で、今までの豊富な臨床、研究、教育に対する経験を十分に次世代に繋げることなく、余儀なく大学を去らねばならない状況である。また、一般病院でも同様な傾向にある。開業医に於いては外国並みに定年制を設ける話題も出ている。また小児科医は地方では極めて少ない状況で、アンバランスの医師分布でもある。

このような状況下、65歳以上のシニア小児科医が活力を持ち我が国の小児医療、医学に貢献する為の社会への啓発活動並びに社会での更なる活動をする為、シニア小児科医が社会で生き生き活動する為、日本シニア小児科医連盟を立ち上げ、我が国の小児医療、医学の発展の為に貢献することを目指しております。

第1回日本シニア小児科医連盟会議



日 時：平成26年4月11日（金） 18：30～21：00
会 場：ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋

挨拶 日本シニア小児科医連盟会 代表幹事 衛藤義勝

1. 日本シニア小児科医連盟 設立趣旨・活動内容
2. 第1回日本シニア小児科医連盟会議 開催について
3. 幹事の紹介
4. 次期会議について
5. その他（今後の活動）

山城雄一郎

順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座教授/名誉教授

今回、衛藤義勝先生が中心になり「日本シニア小児科医連盟」が結成され、第1回の会合が平成26年4月、日本小児科学会総会が開催された名古屋市で高名な10数名の参加者を得て開催されました。

我が国のこのような会が結成、発足した事は非常に喜ばしい事で、既に定年を越えた小児科医やこれから定年を迎える方々も小児科医としてのキャリアを引続き連携し発揮出来る共通の広場が出来たと考えられます。

日本国民の平均寿命が急速に伸び高齢化社会と言われる今日、元気で意欲、能力を有する定年以降の高齢者の再雇用は、社会の要求でもあり、少子化で若年雇用者が減少しつつある我が国の社会活動維持に重要です。そして小児科医など高度の知識と技能を有する **specialists** は国の重要な財産であり、子育て支援等に多大な貢献が期待されております。

設立にあたり

安次嶺 馨

沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修事業団ディレクター

我が国では永年、卒後医学教育は主として大学病院で行われていましたが、2004年の新臨床研修制度開始以来、市中病院の役割が大きくなりました。しかし、多忙な診療・研究の片手間に卒後教育を行うのでは、十分な成果を上げることはできません。

我が国の医学教育の現状は、残念ながら、国際的な評価が低いと言わざるを得ません。国際スタンダードを目指す医学教育を行うのは、急務と考えます。このような現状は、シニア小児科医の出番です。診療の支援で現役の負担を減じるのも大切ですが、一方、off duty staffとして教育に従事するのも、シニアの役割だと思います。大学でも、市中病院でも、シニア小児科医が教育者という立場で連携し、自らも学び直し、若者たちを育てることを新たな喜びにしませんか。

第2回日本シニア小児科医連盟会議

世話人 清野佳紀（大阪保健医療大学学長、岡山大学名誉教授）

日時： 平成27年4月18日（土） 5：30－9：00PM

幹事会 5：30－6：00

講演会 6：00－7：30

1) 清野 佳紀『ワークライフバランスの推進が病院を活性化する』

2) 中畑 龍俊『iPS細胞の小児疾患への応用（案）』

3) 吉岡 章『血友病の新しい治療（案）』

懇談会 7：30－9：00

会場： 大阪リーガロイヤルホテル

会費： 10,000円（食事代含む）

幹事名簿

衛藤 義勝 （財）脳神経疾患研究所先端医療センター長/東京慈恵会医科大学名誉教授

山城 雄一郎（順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座教授、名誉教授）

清野 佳紀（大阪保健医療大学学長、岡山大学名誉教授）

安次嶺 馨（沖縄県立中部病院 ハワイ大学卒後医学臨床研修事業団 ディレクター）

中畑 龍俊（京都大学 iPS 細胞研究所副所長、名誉教授）

飯沼 一字（NPO 法人「子どもの村東北」理事長、東北大学名誉教授）

別所 文雄（日本医療科学大学保健医療学部教授、杏林大学客員教授）

藤村 正哲（子ども療養支援協会会長、大阪府立母子保健総合医療センター名誉総長）

大澤 真木子（東京女子医大名誉教授、前副学長）

柳澤 正義（日本こども家庭総合研究所名誉所長、国立成育医療センター名誉総長）

衛藤 隆（日本こども家庭総合研究所所長、東京大学名誉教授）

芳野 信（久留米大学高次脳疾患研究所客員教授、久留米大学名誉教授）

保科 清（山王病院小児科上席部長、日本小児科医会前会長）

松平 隆光（日本小児科医会会長）

井上 謙吉（福岡県小児科医会副会長）

松尾 雅文（神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授、神戸大学名誉教授）

中村 肇（阪神北広域救急医療財団理事長、神戸大学名誉教授）

麦島 秀雄（日本大学医師会会長）

杉本 徹（済生会滋賀病院院長、京都府立医科大学名誉教授）

吉岡 章（奈良県立医科大学名誉教授、奈良県立医科大学前学長）

内山 聖（新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院院長、新潟大学名誉教授）

横田 俊平（国際医療福祉大学教授、横浜市立大学名誉教授）

森川 昭廣（北関東アレルギー研究所長、群馬大学名誉教授）

河野 陽一（千葉労災病院院長、千葉大学名誉教授）

児玉 浩子（帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科長）

阿部 敏明（あしかが森足利病院常勤顧問、帝京大学名誉教授）